

# Intuos4が変える Webクリエイティブの現場

取材協力 | 株式会社ワコム |  
text\_ 奥田高大 photo\_ 太田隆生

1週間かかっていた作業が、  
1日でできるように

東京にあるWeb制作会社「クライマックス」。ここでチーフクリエイティブマネージャーを務めるラディ・ジェイソン氏は、これまで海外、国内問わず多くのWebサイトを手がけてきたマルチクリエイター。そのキャリアは20年にも及ぶが、グラフィックデザインの世界へは、趣味がこじりて入ったという。「親からもらったMacでイラストを描いて、友達と見せあったりしていたんだけど、当時はそれが仕事になるなんて考えてもなかった。でも16歳のとき、人から頼まれたイラストを描いたらお金が貰えたんです。いま思えば、それがグラフィックデザイナーとして初めての仕事ですね」

以来、イラストや映像、Webサイトのクリエイティブディレクターなど幅広くグラフィックデザインを手がけるようになったラディ氏。ネットが盛んになる前から、Webクリエイティブにも関わってきただけに、ソフトウェアはもちろん、ツールの進化が作品に大きく影響することを肌で感じてきた。

「制作環境は劇的に変化しましたね。昔は神経を使いながらマウスでイラストを描いたり、手で書いたものをスキャンしてから、なぞるようなことをやっていた。1990年頃からは使い勝手をアップするためにトラックボールを使ったりしてね」

そんなある日、友人のクリエイターから勧められてペンタブレットを使い始めた。

「仕事で使いたしたのは1996年頃から。初めはバンク・オブ・アメリカのATM(現金自動預払機)の画面インターフェイスをデザインするのに使ってみたんです。するとトラックボールなら1週間かかる作業が、1日でできた。あまりに使い勝手がいいものだから、それから6カ月間はペンタブレットばかり。いつも持ち歩いて、他の人のPCにもドライバを勝手にインストールして使ったりもしていましたね(笑)」

ラフスケッチやクライアントとの  
打ち合わせに活躍

ペンタブレットはイラストレーターが使うものというイメージを持つクリエイターも多いのではないだろうか？ 実際、ラディ氏は仕事やプライベートワークでイラストを描くことも多いが、他にもさまざまなシーンで使っているという。

「とくによく使うのは、CIやロゴデザイン、それにラフスケッチ。ペンタブレットだと鉛筆で紙に書くのとはほとんど変わらないスピードが得られるだけでなく、



Intuos4を使って制作に取り組むラディ氏。付属する4種類の替え芯から、「鉛筆と同じ感覚」という理由でハードフェルト芯を選択した

後でリサイズしたり色を塗るのも簡単。クライアントとの打ち合わせのときには、必ずノートブックとペンタブレットを持って行きます。話を聞きながら、その場でイメージを見せることができるので、プロジェクトのスタートがすごく早くなりました。紙を使わないのでエコだしね(笑)」

ラディ氏は用途ごとに3台のペンタブレットを使い分けるほどのヘビーユーザー。Webクリエイティブの現場では、一見意外にも思えるツールを使い続ける理由を次のように説明する。

「Web制作にも多くの仕事がありますが、デザインや

アートディレクションなど、クリエイティブよりの人ならば、アイデアやイメージを伝えるツールとして、ペンタブレットを使うべきだと思う。最初は少し戸惑うけれど、慣れてしまえばこれほど自分のイメージを表現できるものはないですね。ツールっていうのは車に似ていて、ファミリーカーもスポーツカーも、移動する方法は同じ。でも一度スポーツカーに乗ると、スピードもコーナリングもまったく違うことに気づいて、それまで乗っていた車には戻れない。ペンタブレットはまさにそんなツールですね」

これまで以上に思い通りの  
イメージが描ける Intuos4

なかでもIntuos4はプロフェッショナル向けの高い精度を持ったペンタブレット。ラディ氏もこれまで使っていたものとの違いに驚く。「感覚的に言えばIntuos4は、これまでの10倍ぐらい正確に書ける。イメージした線に近いものがより描きやすくなって、その分アイデアを膨らませる時間が増えそうです」

そう話すラディ氏はIntuos4の操作にもすぐ慣れ、軽快に仕事をこなしてゆく。

「8つのファンクションキーとタッチホイールを組み合わせれば、キーボードを使う必要がないので、作業効率がすごくアップする。僕がとくに気に入っているのはプレジジョンモード。これを使うことで、細かいドローイングも可能になりました」

PhotoshopやIllustratorはもちろん、使い込むうちに、他のソフトとの相性の良さにも気づかされたというラディ氏。Intuos4はクリエイティブに欠かせないツールになっていると断言する。

「僕がよく使うSketchBook Proとの相性もいいし、友人のクリエイターは、3DソフトでモデリングするときにさえIntuos4が欠かせないと言っている。デザインをより深く知るには、頭に浮かんだイメージを感覚的に伝えるツールが絶対に必要。Intuos4を使うことで、よりクオリティの高いWebクリエイティブが可能になると思いますよ」



斬新なアイデアとクオリティの高いデザインだけでなく、スピードも求められるWebクリエイティブの世界。それらを実現するには、クリエイターのイメージを正確に伝えるツールが欠かせない。第一線のクリエイターがペンタブレットを使い続ける理由はここにあった。

Works with a pentablenet



ラディ氏がブランディング、コンセプトデザインまで深く関わった「FOWA」のWebサイト。ペンタブレットでスケッチしたロゴやアイコンが反映されている

<http://events.carsonified.com/>



Webイベントホール「シアター」制作の際に描いたラフスケッチ。クライアントのイメージをスケッチで確認しながら打ち合わせを進めたおかげで、制作がスムーズに

<http://www.e-theater.jp/>



ラディ氏がイラストやロゴを手掛けたWebサイト「Funderoo」。タイトルロゴに使用されているユニークな文字は、ペンタブレットを使用した

<http://funderoo.com/>

Personal works with a pentablenet



絵本のような温かみをもったイラストも、ペンタブレットで自在に表現できる。右はキャラクターのラフスケッチ



シンプルなラインを用いた、ラディ氏らしいユーモラスな作品



インタビュー中にIntuos4を使用して即興で描いてくれたイラスト。ペンタブレットならイメージをそのまま形に



ラディ・ジェイソン  
Jason Ruddy

1989年から本格的に活動を開始し、これまでにクリオ賞、カンヌ広告賞金獅子賞など受賞歴多数。映像、Webコンテンツ、Flashゲーム、コーポレートブランディング、グラフィックデザイン、モーショングラフィックス、作曲など多岐な領域で活躍。世界中のナショナルブランドからオーダーも多い。

meets...



Intuos4

プロフェッショナルのための表現力と作業効率、高いカスタマイズ性を持ったペンタブレット。指先の微妙なニュアンスを感知する2048レベル筆圧機能と、画材同様の軽い筆圧でも線を描きつくす1gON荷重を実現。クリエイターのイメージを自在に表現できる。

サイズ/Small, Medium, Large, Extra Large  
価格/すべてオープン

■お問い合わせ  
株式会社ワコム  
0120-056-814  
<http://intuos.jp/>



interview with Jason Ruddy